

市町村名	大宜味村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	大宜味村観光情報発信整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ	
担当部課名	産業振興課・企画観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信するため、大宜味村産業まつり及びPRイベントを開催し、交流人口の増加を促進する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		7,706	9,550	12,550	14,550	11,650
			7,310	9,550	12,550	10,050	1,527
			▲ 396	0	0	▲ 4,500	▲ 10,123
			7,310	9,550	12,550	10,050	1,527
	B. 執行済額		7,310	8,525	9,138	6,103	390
	うち交付金充当額		5,848	6,820	7,310	4,882	312
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	89.3%	72.8%	60.7%	25.5%
	予算の状況の説明		・産業まつりについてはコロナの影響により中止となり未実施となった。その費用分を減額している。 ・PRイベントについては、開催回数を前年度と同数行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各まつりが中止となり不用額が出た。(1,137千円)				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	産業まつり誘客イベント開催支援	目標	( 開催 )	( 開催支援 )	( 開催支援 )	( 開催支援 )	
		実績	実施	実施	実施	未実施	
	PRイベント開催支援	目標	(                    )	( 開催支援 )	( 開催支援 )	( 開催支援 )	
		実績		実施	実施	実施	
達成状況説明	・産業まつり:コロナの影響により中止となり未実施。 ・芭蕉布展示及び舞踊だけではなく、大宜味村の特産物であるシークワサー酢(SKSS)・シークワサーあめ・シークワサーまんじゅうなども試飲・試食していただき好感触であった(芭蕉布今昔展:入館者数1,301人)						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	大宜味村産業まつり来場者数	目標	( 5,000人 )	( 5,000人 )	( 5,500人 )	( 5,500人 )	(                    )
		実績	5,500人	4,734人	5,558人	未実施	
	PRイベント来場者数	目標	( 5,000人 )	( 15,000人 )	( 15,000人 )	( 10,000人 )	(                    )
		実績	5,866人	12,700人	21,400人	1,301人	
	進捗状況説明	・産業まつり:コロナの影響により中止となり未実施。 ・令和2年度は、当初6～7都市でPRイベントを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くのイベント等が中止になった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(産業まつり) 今年度においてはコロナの影響もあり産業まつりの開催自体が出来なかった。 (PRイベント) 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くのイベント等が中止になった	(産業まつり) 今回は未実施となったが、今後においてはコロナの感染対策も含めた対応を検討していく必要がある。 (PRイベント) ①より多くの方々へ大宜味村のPRをするために、開催場所について検討する。 ②来場者に対し、より効果的PR方法の検証及び取組体制を見直して継続してPRイベントを実施する ③大宜味村の特産物及び物品販売の強化に取り組む必要がある。 ④新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染対策も含めた対応を検討していく必要がある。

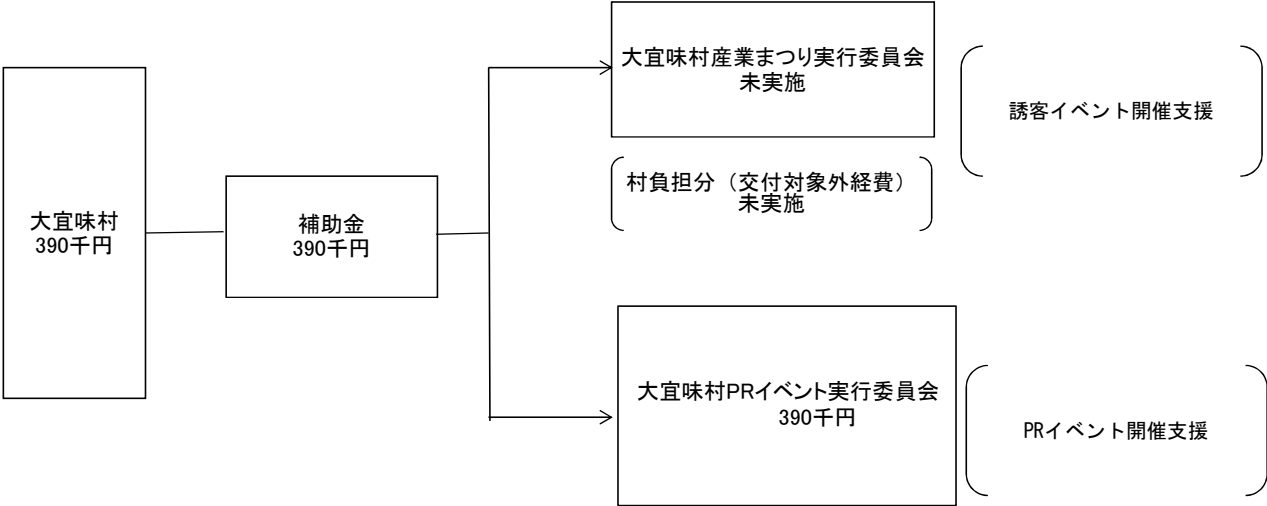
**今後の取り組み方針**

(産業まつり)  
 ①コロナ感染防止対策を徹底し、開催に向けた取り組みを検討していく必要がある。

(PRイベント)  
 ①令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、より多くの方々に大宜味村をPRするため、大都市をはじめ新規開催地での実施を検討する。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

	総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
			充当額	市町村負担金	
産業まつり	0	0	0	0	0
PRイベント	390	390	312	78	0
合計	390	390	312	78	0



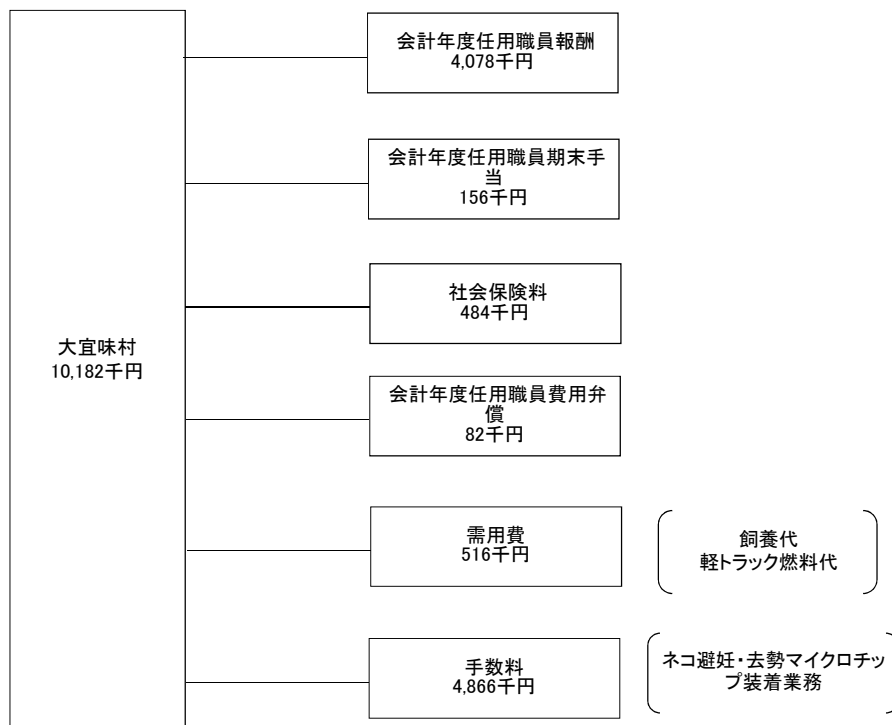
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先はPRイベント実行委員会となっており、事業内に沿って妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については予算の状況説明に記載のとおり、適正な規模となっているが、コロナ等その他の事情で開催できないイベント等についても考慮しながら事業を行っていきたい
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途についても必要なものに限定されており適切なものとなっている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		大宜味村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		環境保全・美化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-(ア)	
	担当部署名	建設環境課		事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生物多様性の保全
事業内容		野良犬、野良猫、ハブ対策として環境保全の作業員による保護・捕獲器の設置、回収を行い地域住民や観光客の安全確保を図る。また、猫の適正飼育の周知や、猫の譲渡強化等を図る。					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,069	5,594	5,549	5,724	7,741
		(b) 予算現額	4,575	5,594	5,549	5,724	10,182
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,494	0	0	0	2,441
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		4,575	5,594	5,549	5,724	10,182
	B. 執行済額		4,228	4,756	4,953	5,576	10,182
	うち交付金充当額		3,382	3,805	3,962	4,461	8,145
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		92.4%	85.0%	89.3%	97.4%	100.0%
予算の状況の説明		予算額に対し、予定していた通り事業の執行ができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	会計年度任用作業職員(2人) 会計年度任用調査職員(2人)		目標 ( 3人 )	( 4人 )	( 4人 )	( 4人 )	
			実績	3人	4人	4人	
	各保護・捕獲器の設置 (ハブ:30台、犬:3台、猫:10台)		目標 ( ハブ30台 犬3台 猫10台 )	( ハブ30台 犬3台 猫10台 )	( ハブ30台 犬3台 猫10台 )	( ハブ30台 犬3台 猫10台 )	
			実績	ハブ30台 犬3台 猫10台	ハブ30台 犬3台 猫10台	ハブ30台 犬3台 猫10台	
猫の譲渡の実施		目標 ( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )		
		実績	実施	実施	実施		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計年度任用職員を4人配置し、2人は集落内の野良ネコ調査、2人はハブ捕獲器設置回収、犬・猫の保護器設置回収を実施し、ハブを27匹の捕獲、犬を2匹、猫を300匹保護した。</li> <li>・観光地周辺及び、村内で目撃事例が多数報告されている地域へ、ハブ捕獲器の設置、野良犬・野良猫が多い地域へ犬・猫保護器を設置したことにより、ハブの捕獲、犬・猫の保護を行い事業実施をすることができた。</li> <li>・村が保護し住民へ譲渡した猫に対して、猫の避妊・去勢等を目標どおり実施した。</li> </ul>					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	①ハブ咬傷被害:0件		目標 ( )	( 1件以下 )	( 1件以下 )	( 0件 )	( )
			実績	2件	1件	1件	
	②ヤンバルクイナの生息率:15.4%以上		目標 ( )	( 16.7%以上 )	( 15.4%以上 )	( 15.4%以上 )	( )
			実績	15.40%	23.10%	33.33%	
	③保護した猫の譲渡:80件以上		目標 ( )	( 40件 )	( 40件以上 )	( 80件以上 )	( )
		実績	37件	39件	264件		
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハブ咬傷被害は1件であり目標未達成となった。</li> <li>・ヤンバルクイナ生息率については、33.33%となった。</li> <li>・ネコの譲渡件数については、愛護団体との連携及び地域住民への周知活動を行い264件となった。</li> </ul>					

		推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハブ咬傷被害の未然防止については、観光地周辺及び、村内で目撃事例が多数報告されている地域へハブ捕獲器を設置しているが、咬傷被害が一定数あることから、咬傷被害減少への更なる注意喚起が必要であると考え。</li> <li>・ヤンバルクイナの生息率については、大宜味村での目撃も多数あるため引き続きネコの適正飼養の設定を促す。</li> <li>・ネコの譲渡について、愛護団体等と連携し、目標達成したが、適正飼育がなされていない家庭が散見しており、徹底した指導が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハブ咬傷被害の未然防止について、捕獲器を増やす検討をするとともに、継続して観光地周辺及び、村内で目撃事例が多数報告されている地域へ捕獲器設置、ハブ咬傷被害があった個所の捕獲器設置を行い、村内放送等で注意喚起を行う。</li> <li>・ヤンバルクイナにとってネコは脅威である事から、村内の区長に協力を得ながら情報把握に努め、ネコの室内飼いの徹底に取り組む。</li> <li>・ネコの譲渡に関して、村内のみならず、県外や他団体との連携を図り譲渡強化すると共に、適正飼育の徹底を促す。</li> </ul>
	<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハブ咬傷被害の未然防止について、ハブ捕獲機の増設を検討する。また継続してハブ捕獲器を設置し、観光地周辺へハブ咬傷被害防止の周知を行う。</li> <li>・ネコの適正飼育及び、野生化したネコの保護、避妊去勢の推進を行う。</li> <li>・ネコの譲渡に関して、村外及び県外への譲渡も視野に他団体との連携を図ると共に、適正飼育の徹底を促す。</li> </ul>			

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,182	10,182	8,145	2,037	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○任用職員の採用については、村の規則に準じ採用した</li> <li>○予算規模については、100%の執行率となり、事業規模は適正である。</li> <li>○費目・用途については、事業実施に必要不可欠なものであり、計画・支出等に関する書類により確認・適正である。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		大宜味村				
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-③	ふるさと河川環境再生・活用整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-(イ)	
担当部署名	建設環境課	事業実施(予定)年度	平成26年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	陸域・水辺環境の保全	
事業内容	大宜味村謝名城・喜如嘉地区の魅力あるむらづくりとリンクさせた地域の活性化を図るため、河川敷の空間の有効活用、治水安全度の向上や河川全体の自然環境再生を視野に大川川とその周辺整備を実施する。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(補償)					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度
		(a)当初予算額	169,203	-	99,151	-
	(b)予算現額	146,630	-	99,151	-	184,002
	(c)増減額(b-a)	▲22,573	-	-	-	3,039
	(d)繰越額	-	146,630	-	-	0
	A.計(b+d)	146,630	146,630	99,151	-	184,002
	B.執行済額	-	103,485	98,835	-	184,002
	うち交付金充当額	-	82,787	79,068	-	147,202
	次年度繰越額	146,630	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)	0.0%	70.6%	99.7%	-	100.0%
予算の状況の説明	予定していた整備箇所の護岸整備工事を年度内に完了することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	護岸整備工事の実施 L=500m	目標	( )	( 護岸整備工事 L=350m )	( 護岸整備工事 L=200m )	( 護岸整備工事 L=500m )
		実績		護岸整備工事 L=239m	護岸整備工事 L=189m	護岸整備工事 L=180m
	目標	( )	( )	( )	( )	
	実績					
達成状況説明	整備箇所の現場状況に伴う工法変更等があり、当初予定していた護岸整備の延長500m(両岸)に及ばなかった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
		目標	( )	( 工事整備率 56% )	( 工事整備率 64% )	( 工事整備率 83% )
	実績		工事整備率 59%	工事整備率 63%	工事整備率 71%	
	【R4成果目標】 ・整備した河川周辺で花見客数6,500人以上 ・整備した河川周辺での環境学習参加者数500名以上	目標	( )	( )	( )	( )
実績						
進捗状況説明	・R2年度3月下旬に護岸整備工事を完了し、工法変更等により目標に届かなかったが進捗状況としては概ね予定どおりに実施できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(累計河川工事整備率) ・整備箇所現場状況に伴う工法変更等があり、当初予定していた護岸整備の延長500m(両岸)に及ばなかったため、累計河川工事整備率71%にとどまった。	(累計河川工事整備率) ・現場状況に見合った工法検討を行い、事業執行に支障が出ないよう対策する。

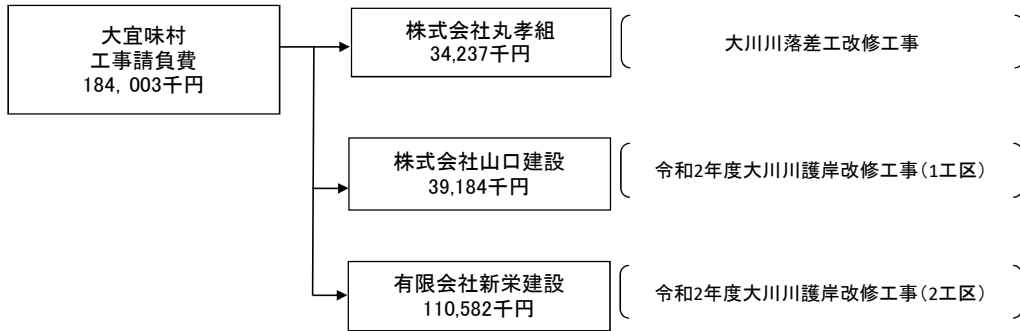
**今後の取り組み方針**

(累計河川工事整備率)  
・引き続き、観光誘客や観光教育の場としての活用を図るため、大川川の整備を実施する。

(用地購入)  
・引き続き、事業箇所の用地取得に向けて地権者の割り出しを強化し、事業内容及び補償内容について十分説明を尽くし理解を求めていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
184,003	184,003	147,202	36,801	



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は指名競争入札で決定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、年度内で工事を完了したこともあり適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	大宜味村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部署名	教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	将来の大宜味村を担う大宜味村の児童生徒の基礎学力の定着を図る為、村内の小学校1校と中学校1校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		8,818	11,108	11,175	11,175	11,878
			8,802	10,046	11,175	11,175	11,878
			▲16	▲1,062	0	0	0
			-	-	-	-	0
		8,802	10,046	11,175	11,175	11,878	
	B. 執行済額 うち交付金充当額		8,670	9,853	10,106	10,742	11,404
			6,936	7,882	8,084	8,593	9,123
		-		-		0	
		執行率(%) (B/A)	98.5%	98.1%	90.4%	96.1%	96.0%
	予算の状況の説明	事業開始当初は学習支援員の人員確保ができ円滑な事業実施ができた。社会保険料について年齢40歳以下の支援員が多かったため、介護保険料の捻出がなく予算残額が出た。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	小学校3名配置(低中高年各1名)	目標	(1小学校×3人)	(1小学校×3人)	(1小学校×3人)	(1小学校×3人)	
		実績	1小学校×3人	1小学校×3人	1小学校×3人	1小学校×3人	
	中学校2名配置	目標	(1中学校×2人)	(1中学校×2人)	(1中学校×2人)	(1中学校×2人)	
実績		1中学校×2人	1中学校×2人	1中学校×2人	1中学校×2人		
達成状況説明	・村内の小学校1校に3名、中学校1校に2名学習支援員を配置した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	【R2年度成果目標】 沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 0ポイント以上	目標	(-6ポイント)	(0ポイント以内)	(-1.5ポイント以上)	(0ポイント以上)	( )
		実績		-6.4ポイント	-3.1ポイント	1.9ポイント	
	【R2年度成果目標】 沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 中学校 0ポイント以上	目標	(-18ポイント)	(-1.5ポイント以内)	(-1.0ポイント以上)	(0ポイント以上)	( )
		実績		0.1ポイント	5.8ポイント	0.1ポイント	
進捗状況説明	・成果目標の設定を沖縄県の到達度調査を用いて設定している。小学校においては県との比較ポイントを0ポイント以上としていたが、目標を上回る1.9ポイントまで飛躍できた。中学校においては目標を0ポイント以上としており、達成することができた。						

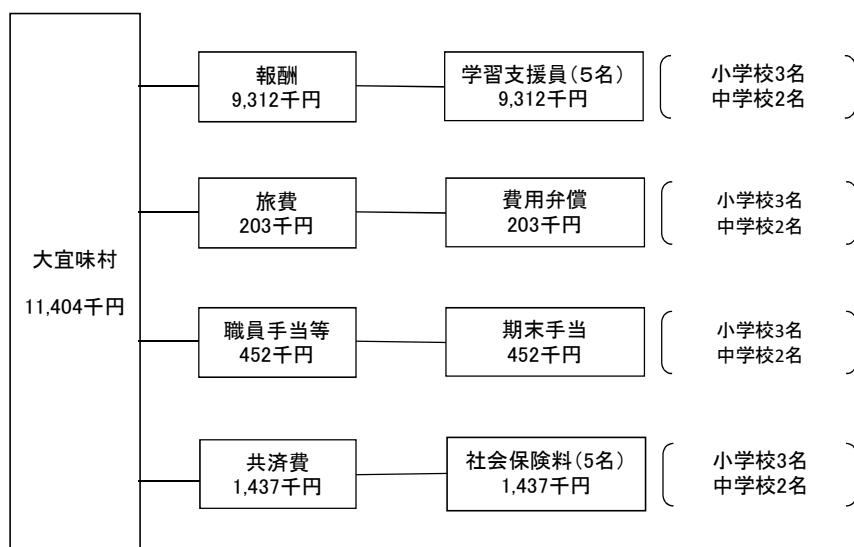
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により、四月から臨時休校を余儀なくされたが、臨時休校時は村内の児童クラブと連携し、支援員の活用ができた。</li> <li>・学校再開以降は計画通りの支援活動ができ、小学校においては全教科平均点が沖縄県平均を1.9ポイント上回り大きな効果が見られた</li> <li>・中学校において、全教科平均点が県平均を上回っており成果がみられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校共に目標値を達成することができ、事業の効果が見られた。今後も事業を継続し県平均並みの水準が維持できるよう取組を行う必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・小・中学校共に、成果目標の達成状況から見ても、支援による効果が大きいため今後も維持していきたい。  
 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、臨時休校時の支援員の対応についても今後も児童クラブ等と連携していきたい。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
11,404	11,404	9,123	2,281	



資金の 使途の 流れ・ 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員の採用については、公募により行っており、適正であった。 ○予算規模については不用額は433千円であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要な支援員の賃金と共済費を支払った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

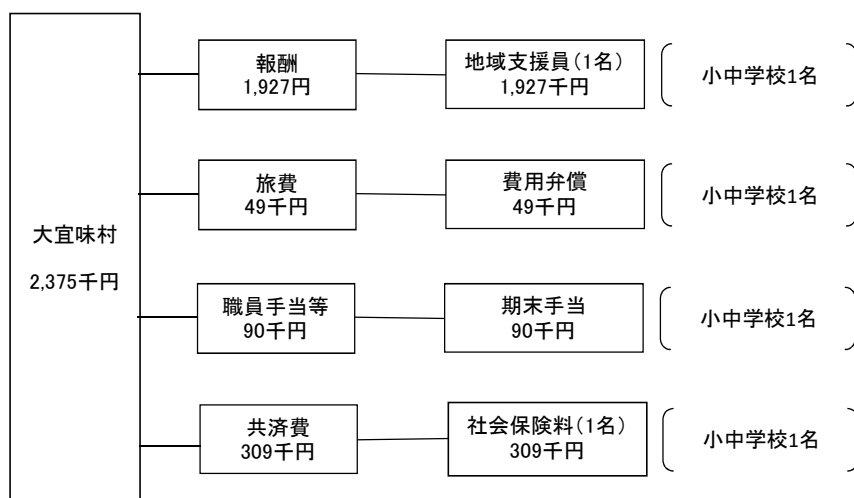


市町村名	大宜味村						
<b>令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	2-②	地域支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部署名	教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進		
事業内容	学校と地域の連携を充実させ、不登校やいじめ等に対して生徒を支援する地域支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		2,216	0	2,235	2,235	2,359	
		2,200	0	2,235	2,235	2,375	
		▲16	0	0	0	16	
		-	-	-	-	-	
		2,200	0	2,235	2,235	2,375	
		2,128	0	2,201	2,158	2,375	
		1,702	0	1,760	1,726	1,900	
		-	-	-	-	0	
		96.7%	-	98.5%	96.6%	100.0%	
予算の状況の説明	事業開始当初は地域支援員の人員確保ができ円滑な事業実施ができた。費用弁償について当初通勤距離が5km圏内を予定していたが、採用者が5kmを超えたため見直しが必要となり、16千円増額を行った。執行率は100%である。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		地域支援員配置数 村内小中学校1人	目標	(    ) ( 1小中学校×1人 )	( 1小中学校×1人 )	( 1小中学校×1人 )	( 1小中学校×1人 )
			実績		1小中学校×1人	1小中学校×1人	1小中学校×1人
		目標	(    ) (    )	(    )	(    )	(    )	
		実績					
達成状況説明	・地域支援員を小中学校に1人配置しており、不登校生徒の登校支援や登校後の校内学習・活動を主にサポートすることができる。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		目標	( -6ポイント )	( 100% )	( 100% )	( 100% )	(    )
		実績		100%	100%	27%	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )
		実績					
	進捗状況説明	・不登校気味の児童生徒を不登校にさせないことを目標としているが、コロナの影響により臨時休校の期間があり、休校空けに登校しづりが多くみられた。不登校児童生徒についても今年度は73%発生している状況となった。不登校気味の児童生徒数19人(うち不登校児童生徒数14人(小学校7人中学校7人))					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により、四月から臨時休校を余儀なくされたが、臨時休校時は村内の児童クラブと連携し、支援員の活用ができた。</li> <li>・地域支援員だけでなく外部機関(教育委員会や民生員)と定期的に情報交換を行うことで、児童生徒を取り巻く諸問題に早急に対処できる体制づくりはできたが、臨時休校等の影響により不登校児童生徒が出てしまっている。</li> <li>・児童生徒間のトラブルや進学時の環境の変化への戸惑いから不登校気味になる場合もある。</li> <li>・現在、小学校において登校渋りの児童が複数いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援員が主となり小中学校の養護教諭、貧困対策コーディネーター、教育相談員、児童クラブ代表で月一回の情報交換会を行い、児童生徒の諸問題等について密な連携がとれる体制が整っている。その効果もあり、問題を抱える子供達一人一人に合った支援体制が望める。</li> <li>・登校渋りの児童においては、保護者が課題を抱えていることもあることから、家庭の巡回を行いつつ民生員や関係機関に繋げていくことで課題解決を図る。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も地域支援員と教育分野(教育委員会、教育相談員)、福祉分野(民生員)との連携を図り、地域全体で児童生徒並びに保護者への支援体制を維持する。</li> <li>・環境の変化が特に大きい小中学校進学時においては重点的なケアを行い、日々の児童生徒の交友関係にも気を配り、今後もきめ細かな支援を行う。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,375	2,375	1,900	475	0



資金の 使途の 流れ・ 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員の採用については、公募により行っており、適正であった。 ○予算規模については不用額は77千円であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要な支援員の賃金と共済費を支払った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	大宜味村						
<b>令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	2-③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-イ		
担当部署名	教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生涯学習社会の実現		
事業内容	各社会教育団体の生涯学習活動及び青少年の学校外活動における学習機会の拡充を図り、その活動を通して本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図るため、生涯学習活動事業を展開する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		2,306	2,477	2,523	2,523	3,121
			2,261	2,477	2,535	2,995	2,691
			▲45	0	12	472	▲430
			0	0	0	0	0
		B. 執行済額	2,227	2,373	2,411	2,716	2,537
		うち交付金充当額	1,781	1,898	1,929	2,172	2,029
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	98.5%	95.8%	95.1%	90.7%	94.3%
		予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響で当初の事業計画等に変更見直しはあったが、ほぼ変更した計画のとおり実施できた。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	生涯学習講座 6回以上開催	目標	( 12回 )	( 12回 )	( 12回 )	( 6回 )	
		実績	13回	15回	13回	6回	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	
	実績						
達成状況説明	・生涯学習講座を6回開催し、目標を達成できた。 ※7回予定していたが、中止1回あり。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	講座受講者数:60名以上	目標	(    )	( 276名 )	( 252名 )	( 60名 )	(    )
		実績		394名	776名	74名	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )
		実績					
進捗状況説明	・生涯学習講座を6回開催し、講座受講者は合計74名となり、目標を達成できた。						

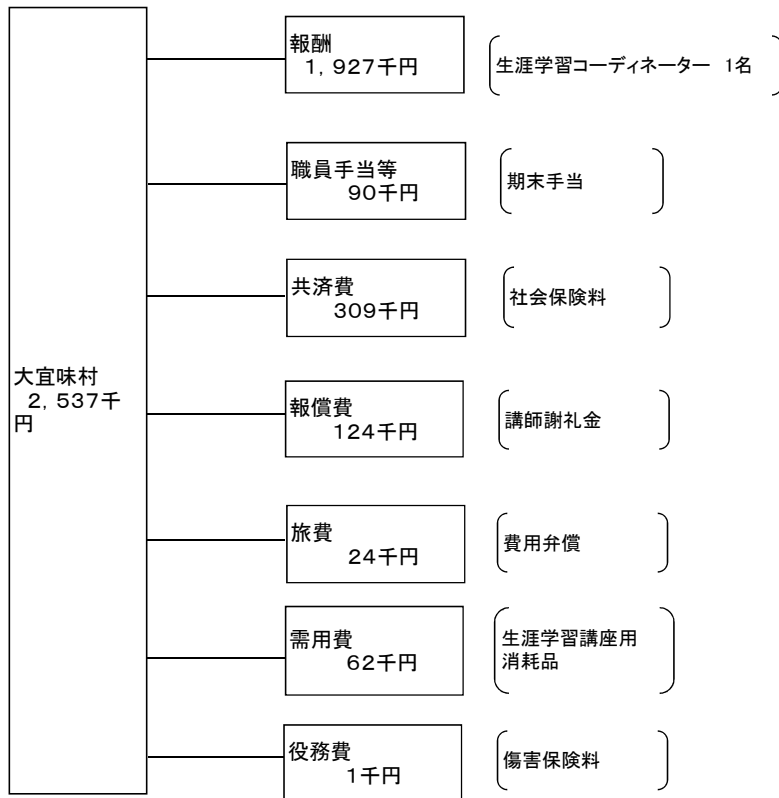
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	新型コロナウイルスの影響により、当初の計画通りの講座の開催が難しかったため、1講座あたりの募集人数を減らし、屋外での講座を実施して密を避けるなどの感染対策を図りながら講座の開催を行った。	今後も新型コロナウイルスの影響が懸念されるが、住民の生涯学習の機会を確保・拡充し、地域のリーダーとなる人材の育成を図るため、引き続き講座の開催をしていく必要がある。

**今後の取り組み方針**

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、生涯学習講座の内容を充実させ、本村の自然や文化等についての興味関心を高める取り組みを実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,537	2,537	2,029	508	



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法について、生涯学習コーディネーターは、村の配置要綱に基づき採用しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○消耗品数量の減などがあり、少々不要が生じたものの予算規模は適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	大宜味村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	児童生徒等県外派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ	
担当部署名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	大宜味村に在住する児童・生徒(小学校・中学校・高校生)に対し、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会に、予選及び審査等の結果、代表として参加する際の派遣費用を補助する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	A. 計(b+d)	1,075	925	901	911	1,435
		B. 執行済額	500	540	688	494	503
		うち交付金充当額	▲575	▲385	▲213	▲417	▲932
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	359	520	496	326	71	
		287	416	397	261	57	
		0	0	0	0	0	
		71.8%	96.3%	72.1%	66.0%	14.1%	
	予算の状況の説明	・121千円については活用見込みがあったため確保していたが、県大会での敗退や、新型コロナウイルス感染症の影響で大会の中止があり、不用額となった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	児童生徒への県外派遣支援	目標	(派遣費の一部を補助)	(派遣費の一部を補助)	(派遣費の一部を補助)	(派遣費の一部を補助)	
		実績	29名	25名	22名	6名	
	目標	( )	( )	( )	( )		
実績							
達成状況説明	次のとおり、6名の児童生徒の派遣を支援した。 ①FID女子日本B代表チーム第1次合宿(福岡県)1名派遣 ②第42回全九州高等学校選抜ホッケー競技大会(熊本県)2名派遣 ③第50回九州高等学校新人ソフトテニス競技大会(大分県)3名派遣						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をする事ができたとの回答割合が80%以上	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( )
		実績		100%	100%	100%	
	目標	( )	( )	( )	( )	( )	
	実績						
進捗状況説明	令和2年度に実施した保護者へのアンケートでは、「県内ではできない経験をする事ができたか」の設問について、「できた」との回答が100%であり、目標を達成することができている。						

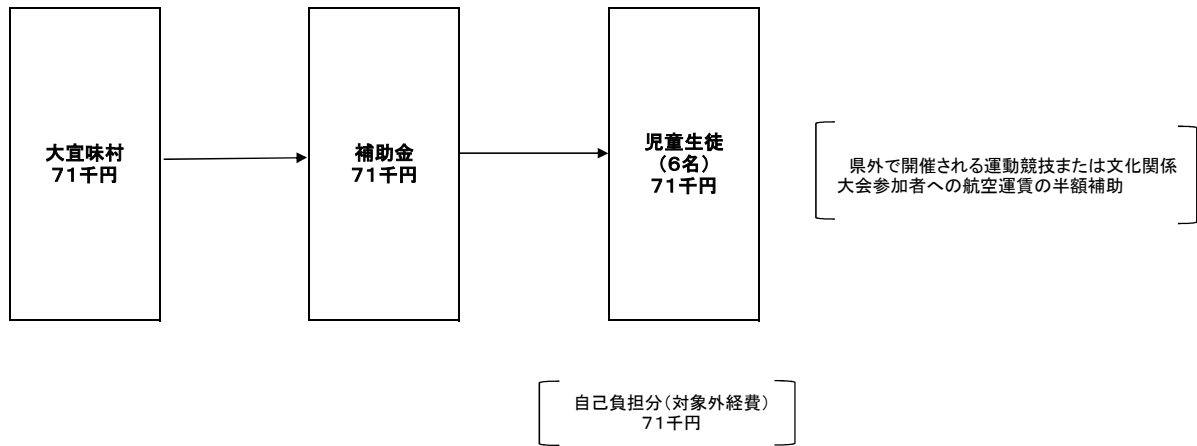
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外派遣を実施することで、すべての保護者が「児童生徒が県外ではできない経験をすることができた」と回答しており、本事業の成果が表れている。</li> <li>・派遣した児童生徒の活動報告から満足度が高いことが窺われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や保護者の振り返りを深めるため、アンケートにより本事業の在り方について検証する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・アンケートによって児童生徒がどのような経験ができたかを、具体的に把握することに努め、毎年度はじめに行う村内の小中高校への派遣事業の周知や、村教育委員会発刊誌により全世帯への周知を行い、県外での大会派遣を引き続き支援していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

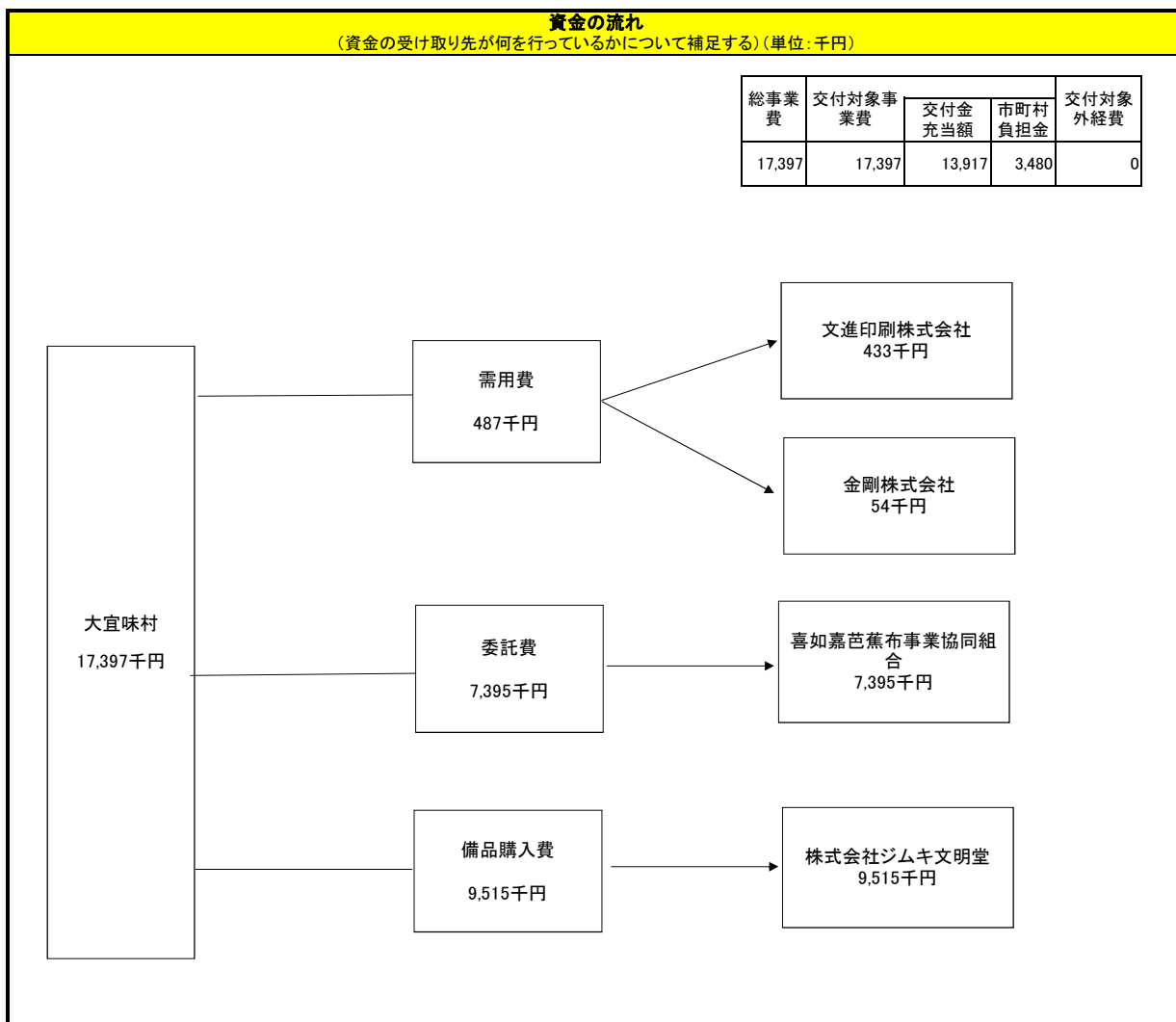
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
71	71	57	14	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、交付要綱に基づいた対象となっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業内容に見合ったものと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は対象費用の5割で妥当としている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・用途は事業目的に即した必要のものと考えている。

市町村名	大宜味村						
<b>令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	4-①	喜如嘉の芭蕉布魅力発信事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-イ		
担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	令和元年~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化の担い手の育成		
事業内容	国指定重要無形文化財である喜如嘉の芭蕉布の保存継承を図るため、着物を制作し、やんばるの森ビジターセンター(道の駅おおぎみ)に展示するとともに、イベントの際に着付け体験や作業体験等を実施し、喜如嘉の芭蕉布の魅力発信する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	(a)当初予算額	4,664	20,619				
	(b)予算現額	4,664	17,460				
	(c)増減額(b-a)	0	-3,159	0	0	0	
	(d)繰越額	0	0	0			
	A.計(b+d)	4,664	17,460	0	0	0	
	B.執行済額	4,660	17,397				
	うち交付金充当額	3,728	13,917				
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	99.9%	99.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	減額については、入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	喜如嘉の芭蕉布着物展示環境整備	目標	(芭蕉布着物2着製作)	( ・展示ケース購入 ・パネル製作 ・展示ケース内物 品購入	( )	( )	( )
		実績	芭蕉布着物2着製作	 ・展示ケース購入 ・パネル製作 ・展示ケース内物 品購入			
	着付け体験用着物制作	目標	( )	(芭蕉布着物5着製作)	( )	( )	( )
		実績		芭蕉布着物5着製作			
達成状況説明	・展示ケースの購入、多言語の解説パネル製作、展示環境をよりよく保つための調湿保存剤等を購入した。 ・着付け体験ができるように男性・女性・子供用と分けて5着製作した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	喜如嘉の芭蕉布着物展示環境整備完了	目標	( )	(芭蕉布着物2着製作)	( ・展示ケース購入 ・パネル製作 ・展示ケース内物 品購入	( )	( )
		実績		芭蕉布着物2着製作	 ・展示ケース購入 ・パネル製作 ・展示ケース内物 品購入		
	着付け体験用着物制作完了	目標	( )	( )	(芭蕉布着物5着製作)	( )	( )
		実績			芭蕉布着物5着製作		
	【R3成果目標】 喜如嘉の芭蕉布及びその伝統工芸技術について、興味・関心が高まったか、施設来場者に対するアンケート調査	目標	( )	( )	( )	(80%以上)	( )
実績							
進捗状況説明	・展示ケース等を購入したことで展示環境を整えることが出来た。 ・体験用の着物を5着製作することで着付け体験の整備が出来た。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)	
取組の検証	新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、当初の計画より事業執行に遅れが生じた。	事業執行に遅延が生じたが、年度内で成果目標等を達成できたことと、単年度事業であるため改善の必要はないものと考えられる。	
	<b>今後の取り組み方針</b>		
令和3年度に常設展示及びイベントを開催しアンケートを行い認知度を把握する。			



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○需用費の業者選定については、少額(50万円以下)であるため随意契約での選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託料の業者選定については、喜如嘉芭蕉布共同組合が「喜如嘉の芭蕉布」を作成出来るところがないため、選定方法は妥当である
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○備品購入業者は指名競争入札で選定しているため、選定方法は妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○実績で不要額が15%ほど出たが、設計額と予算額がほぼ変わらない為予算規模は妥当である。 ○費用、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。